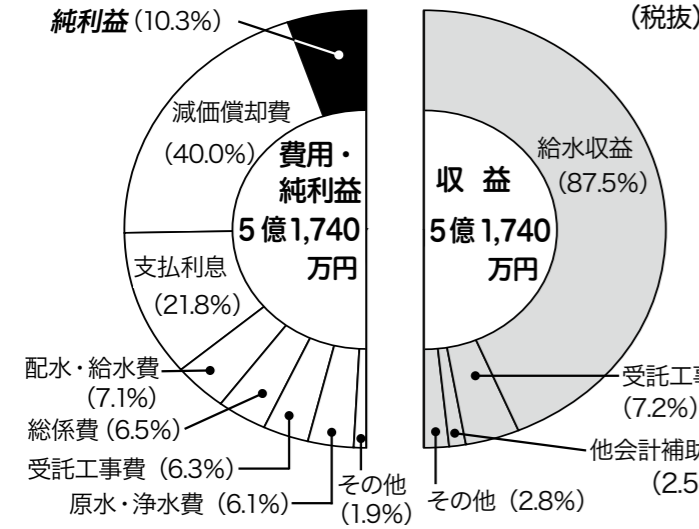


18年度飯山市上水道事業の収益と費用・純利益



費用・純利益の内訳		収益の内訳	
純利益	5,325万 (24.0%増)	給水収益	4億5,273万 (1.5%増)
減価償却費	2億0,679万 (0.0%)	受託工事収益	3,696万 (98.3%増)
支払利息	1億1,265万 (6.0%減)	他会計補助金	1,310万 (1.1%減)
配水・給水費	3,667万 (7.7%増)	その他	1,461万 (27.8%増)
総係費	3,382万 (0.8%減)	計	5億1,740万
受託工事費	3,264万 (99.8%増)		
原水・浄水費	3,153万 (14.3%増)		
その他	1,005万 (30.9%増)		
計	5億1,740万		

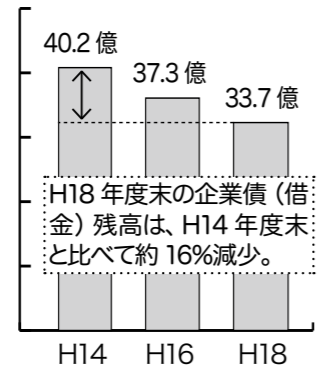
■貸借対照表 (バランスシート) (税抜)	
借方	貸方
土地	6,997万
建物	3億4,957万
構築物	52億0,987万
機械及び装置	3億9,508万
車両及び運搬具	27万
工具器具及び備品	70万
建設仮勘定	45万
(無形固定資産)	14万
固定資産計	60億2,605万
現金預金	2億9,088万
未収金	3,596万
貯蔵品	730万
その他流動資産	10万
流動資産	3億3,424万
資産合計	63億6,029万
引当金	2,492万
固定負債計	2,492万
未払金	1,160万
その他流動負債	144万
流動負債計	1,304万
自己資本金	10億3,464万
借入資本金	33億6,926万
資本金計	44億0,390万
資本剰余金	17億6,461万
利益剰余金	1億5,382万
剰余金計計	19億1,843万
負債・資本合計	63億6,029万

■18年度 飯山市上水道事業の概要

年度末の給水戸数	6,443戸
年度末の給水人口	18,459人
年間の有収水量	2,134,453 m ³
1か月の平均有収水量	177,871 m ³
年間の総配水量	2,517,720 m ³
1か月の平均配水量	209,810 m ³
有収率	84.8%
供給単価(※1)	212.11円
給水原価(※2)	201.77円

※1…有収水量1m³あたりの水道料金の売上
 ※2…有収水量1m³をつくるための費用

■企業債残高の推移



平成18年度 上水道決算

- 損益(収益的)収支は黒字
- 企業債(借金)残高は4年間で約16%減少し、約33億7000万円に

地方公営企業法第40条の2の規定に基づいて、平成18年度の業務概要について公表します。

平成18年度の配水量(つくった水の量)は252万トンで、そのうち有収水量(料金に結びついた水の量)は213万トンでした。また、有収率(配水量に対する有収水量の割合)は84.8%で、前年度よりも3.3ポイント上昇しました。

収益的収支(単年度の維持管理にかかわる収入と支出、消費税抜き)では、まず事業収益が、前年より5.7%増の5億1740万円になり、事業費用が前年より4.0%増の4億6415万円になりました。この結果、平成18年度の純利益は、前年より24.0%増の5325万円になりました。

資本的収支(配水管の整備、施設の建設・更新等にかかわる収入と支出、消費税込み)の収入については、他会計補助金や工事負担金等の総額で4353万円になり、支出については、建設改良費で7649万円、企業債償還金で1億8847万円を合わせた総額で2億6496万円になりました。建設改良費の主なものとしては、水圧の安定化を目的とした有尾浄水場の水位調整弁改良工事、木島地区の石綿管布設替工

事、大深ポンプ室の送水ポンプの更新等があります。

収益的収支は黒字となりましたが、資本的収支は依然として収入と支出の差が大きい状況となっています。このため、経営基盤の強化を図るとともに施設の維持管理体制の効率化に努め、安全でおいしい水の安定供給と事業運営の健全化に努めていきます。

平成18年度 普通会計決算

主な使いみち

特徴的な事業、生活に身近な事業 (1万円未満 四捨五入)

消防費

- 消防団の運営に(6,915万)
- 防災のための訓練、災害対策に(1,457万)
- 消防防災設備の整備に(1,309万)

衛生費

- 乳幼児検診、出産・子育ての教室開催などに(447万)
- 古紙・ガラスびん・ペットボトル・プラ製容器包装の回収資源化などに(2,294万)

教育費

- 小中学校でのスキー購入、スキー教室開催などに(138万)
- クマの出没に伴う、通学バスの運行とクマよけ鈴の貸与による児童・生徒の通学時安全対策に(274万)
- 飯山雪国大学セミナー開催に(188万)
- 図書館の図書等資料の購入などに(582万)
- H18豪雪で破損した飯山シャンツェの修繕に(1,187万)

農林水産業費

- 「食の文化祭」開催や郷土食レシピ集作成等郷土食の普及啓発などに(102万)
- 日本一のアスパラガス産地維持、立枯症回避のための新植に要する経費補助に(164万)
- クマ・カラスなどの有害鳥獣駆除や、観光資源でもある森林の有効活用のために(131万)

商工費

- 企業訪問など企業誘致活動のために(211万)
- 市内商工業経営者などを対象とした経済人育成のための講座「飯山経済塾」の開催補助に(105万)
- 観光宣伝や市民リフト券発行など市内観光地の活性化に(1,194万)

総務費

- 「子育ておうえん券」による子育てを行う世帯の経済的負担の軽減および市内商店街の活性化に(4,603万)
- 「広報飯山」の発行に(315万)
- 市内10地区の活性化センター運営に(1,340万)
- 市民大会や講座の開催など人権政策の推進に(1,063万)
- 森林セラピー認定ガイド・宿の認定講習や遊歩道整備、モニターツアーの実施など森林セラピー基地グランドオープンの準備に(1,616万)
- 先導的と認められる起業(事業)支援のために(300万)
- 県知事・市長・市議会議員・県議会議員・農業委員会委員選挙の執行に(3,463万)

民生費

- 分離移転する総合福祉センターの移転先の地質調査、施設設計に(670万)
- 社協「デイサービスセンター瑞穂」の改築工事への補助(2,081万)
- 保育園の運営、施設整備などに(2億5,547万)
- 市内8カ所の児童センター、児童館、児童クラブの運営に(4,206万)
- 基本健診等の要指導者および元気な高齢期を目指す人を対象とした生活習慣病予防・介護予防のためのトレーニング教室開催に(149万)
- 乳幼児、母子・父子家庭、障害のある方、低所得・独り暮らしのお年寄りなどの医療費給付に(1億0,879万)

土木費

- 区画整理事業、在来線飯山駅の新駅統合のための調査等に(4億4,590万)
- 流雪溝の整備に(4,755万)
- 協働のみちづくり事業に(2,420万)
- 協働のむらづくり事業に(766万)
- 地中熱を利用した無散水消雪施設の整備に(瑞穂地区福島)(1,692万)
- 街灯や反射鏡など道路安全施設の設置・修理に(1,509万)
- 道路等除排雪に(2億8,585万)
- フラワーロードの整備に(344万)
- 移住定住者等への戸建て・集合住宅建設費への補助に(1,277万)
- 住宅の耐震診断に(226万)



消防費 災害対策事業

「平成18年7月豪雨」では延べ1000人近くの消防団員が出勤し対応にあたった。



教育費 飯山雪国大学事業

歴史から身近な話題までさまざまなテーマで講演会や講座が開催された。



農林水産業費

アスパラガス産地再生事業

生産量日本一のアスパラガスは、飯山市の大切な宝物の一つ。



土木費

協働のみちづくり、むらづくり

市民と市が力を合わせ市道・農道・農業施設等の整備を行った。